

当事者目線にたったバリアフリー評価指標 ワーキンググループの設置について（素案）

1. 設置趣旨

当事者目線に立ったバリアフリー環境整備の促進に向け、アクセス性や使いやすさを点検するため、「当事者目線にたったバリアフリー評価指標ワーキンググループ（以下「WG」という。）」を設置するものとする。

2. WGの内容

当事者参画のもと、

① 現地調査

実際の施設における評価指標案を用いた評価及び施設設置管理者との意見交換

② 指標精査

現地調査を踏まえた評価指標の項目、評価の観点等についての精査・検討を行うものとする。

3. 現地調査の運用

現地調査の対象施設については、事務局にて調整し決定する。なお、決定に当たり事務局は可能な限り移動等円滑化評価会議委員の意見を反映できるよう努めるものとする。

現地調査の参加人数は、調査対象施設の広さ等を勘案し、移動等円滑化評価会議座長（以下「座長」という。）が決定する。

座長は、現地調査の開催について、各委員より参加の希望を聴取し、できるだけ多くの委員が参加の機会を得られるよう、調整を行うものとする。

4. 移動等円滑化評価会議への報告

WGの開催結果は、事務局より移動等円滑化評価会議にて報告するものとする。

5. その他

WGの事務局は、国土交通省総合政策局バリアフリー政策課にて行うものとする。

上記に定めるもののほか、WGの運営に関するその他必要な事項は、座長が定めることができる。

6. WGの開催スケジュール（想定）

○令和4年度	基本的な構造の駅	複数回
○令和5年度	複雑な経路又は付加的な構造を有する駅	複数回